

平成29年

# 火災統計

千歳市消防本部

## 【平成 29 年中の火災概要】

### 1 総括

平成 29 年の火災件数は 23 件で、前年より 1 件増加しており、出火率は 2.38 となっている。

火気の取り扱いによる不注意等、人の行為によるものから 12 件の火災が発生している。

※出火率とは、人口 1 万人あたりの出火件数 全国 2.87、北海道 3.44(平成 28 年)

### 2 火災種別

建物火災は 16 件（全体の約 70%）で前年より 6 件増加、車両火災は 3 件で前年より 4 件減少、その他の火災は 4 件で前年より 1 件減少している。

### 3 死傷者

死者は 2 名発生し、前年より 1 名増加、負傷者はなく、前年より 2 名減少している。

### 4 損害状況

焼損棟数は 18 棟で前年より 2 棟増加、焼損面積は 431 m<sup>2</sup>で前年より 759 m<sup>2</sup>の減少となっている。

損害額は 19,744 千円で、前年より 115,777 千円減少し、建物及び収容物の損害額が 19,283 千円で全体の約 98%を占めている。

※損害額及び面積の減少の原因は、前年に発生した大規模な工場兼住宅の全焼から算出した数値が、前年の数値に含まれているためである。

### 5 出火原因

原因別では、「こんろ」が 4 件、「ストーブ」、「電灯・電話等の配線」がそれぞれ 2 件、「炉」、「放火」、「電気装置」、「たばこ」がそれぞれ 1 件、「その他」が 7 件、「不明」が 4 件となっている。

※「その他」とは、火災報告において定められた区分に分類されないものをいい、例として「ごみ焼きの火」、「車両の点火装置」などが挙げられる。

### 6 住宅火災の状況

専用住宅、共同住宅及び併用住宅における、居住世帯が存する建物の火災は 8 件で、前年同数となっている。

居住性を有する建物の焼損棟数は 8 棟で、り災程度は半損 1、小損 10 となっており、損害額は 9,190 千円で全体の約 47%を占めている。

り災世帯は 11 世帯、り災人員は 21 名で、前年より 1 世帯、2 名の減少となっている。









